2026 年度　京都文教大学大学院　臨床心理学研究科
－博士前期課程－

秋期入学試験問題

心理学

受験番号：	氏名：

実施日

2025 年 9 月 10 日（水）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子 1 冊（問題文 3 ページ）、解答用紙 2 枚です。
3. 全てに受験番号と氏名を記入してください。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答を終えたら、問題冊子、解答用紙の順に机の上に重ね、時間の終了を待ってください。
6. 試験終了後、この問題冊子を回収します。
7. 何か疑問な点があれば静かに挙手をし、監督者の指示に従ってください。
8. 不正行為について
   ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
   ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
   ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取り止めさせ退室させます。

第Ⅰ問

以下の心理学用語（①～⑩）と最も関係の深い言葉を、語群の中から 1 つ記号で選びなさい。ただし、記号は重複させないこと。また、心理学用語（①～⑩）の意味を 120 文字以内で説明しなさい。

① 風景構成法
② 分散分析
③ 内閉神経症
④ ロールシャッハ・テスト
⑤ 適性処遇交互作用
⑥ 双極性障害
⑦ 集合的無意識
⑧ カクテルパーティ効果
⑨ ウェーバーの法則
⑩ クライエント中心療法

＜語群＞

（ア）交互作用　（イ）C.R.ロジャーズ　（ウ）C.G.ユング
（エ）軽躁病エピソード　（オ）弁別閾　（カ）形態水準
（キ）中井久夫　（ク）教授法　（ケ）山中康裕
（コ）選択的注意

第Ⅱ問

次の各文の空欄に当てはまる言葉として最も適当な言葉を、下の語群から選びなさい。ただし、記号は重複させないこと。語群の中には使用しない言葉もあります。

Ａ：発達研究において、異なる年齢の集団それぞれに、同時に同じ内容の調査や課題を実施して比較する方法を（　①　）という。また、特定の個人や同一の対象集団を長期間追跡して調査を実施する方法を（　②　）という。

Ｂ：二つの連続変数の間の相互関係の強さを検討する際には（　③　）を用いる。また、二つの平均値の差を検討する際には（　④　）を用いる。さらに、二つのカテゴリー間に連関があるかどうかを検討する際には（　⑤　）を用いる。

Ｃ：発達障害の可能性が考えられる小学生から中学生の学齢期の子どものアセスメントに最も広く使われているのは（　⑥　）である。また、発達障害の可能性が考えられる成人のアセスメントに広く使われるのは（　⑦　）である。そして、認知症のスクリーニングに使われている心理検査は（　⑧　）である。

Ｄ：自発的な行動に対して刺激を与えて行動を変化させる学習を（　⑨　）と言い、条件刺激と無条件刺激の結びつきを強める形で行動を変化させる学習を（　⑩　）と言う。

＜語群＞

（ア）オペラント条件付け	（イ）古典的条件付け	（ウ）観察学習	（エ）社会的学習
（オ）応用行動分析	（カ）ｔ検定	（キ）相関係数	（ク）α係数
（ケ）β係数	（コ）χ^2検定	（サ）分散分析	（シ）Ｆ検定
（ス）横断的研究	（セ）縦断的研究	（ソ）コーホート研究	（タ）事例研究
（チ）質的研究	（ツ）量的研究	（テ）WISC-Ⅴ	（ト）HDS-R
（ナ）SCT	（ニ）新版Ｋ式発達検査	（ヌ）WAIS-Ⅳ	（ネ）田中ビネー知能検査Ⅵ
（ノ）TAT	（ハ）TEG		

第Ⅲ問

代表的な発達理論に、認知発達理論・心理性的発達理論・心理社会的発達理論がある。この 3 つの理論について、次の問いに答えなさい。

(1) この 3 つの理論について、最も代表的な人物の名前を下の人物群から選びなさい。

＜人物群＞

(ア) S.Freud	(イ) C.G.Jung	(ウ) C.R.Rogers
(エ) J.Piaget	(オ) J.Lacan	(カ) E.H.Erikson
(キ) E.T.Gendlin	(ク) A.Freud	(ケ) H.S.Sullivan
(コ) M.S.Mahler		

(2) この 3 つの理論について関連が深いものを、下の語群から 3 つずつ選びなさい。

＜語群＞

(ア) 分離-個体化期	(イ) リビドー	(ウ) 自発性対罪悪感
(エ) モラトリアム	(オ) エディプス・コンプレックス	(カ) 口唇期
(キ) 自己中心性	(ク) 自我同一性	(ケ) 具体的操作期
(コ) 感覚運動期	(サ) チャムシップ	(シ) 心の理論

(3) 語群にある言葉の中から、次の言葉を簡単に説明しなさい

自発性対罪悪感

エディプス・コンプレックス

具体的操作期